

将来世代へのレコードセンター県立公文書館と 被災公文書レスキューの現場訪問

【実施日時】 平成 24 年 2 月 28 日（火） 11：15～12：15

【場 所】 県立公文書館（横浜市旭区中尾 1-6-1）

【目 的】 県立公文書館は、重要な公文書等を歴史資料として保存し、未来へと伝える役割を果たしています。また、昨年 10 月からは、東日本大震災で被災した岩手県陸前高田市の公文書を修復する支援事業「被災公文書レスキュー」も行っていきます。

今回の訪問では、公文書館制度の先進的事例として注目されている中間保管庫（※）等、現用の公文書が歴史資料として引き継がれていく流れなどを視察した後、被災地支援事業として行っている被災公文書の修復作業を視察し、担当者と意見交換します。

※中間保管庫：年数経過により使用頻度が少なくなる現用文書を集中管理するために公文書館内に設けられた書庫。組織の改変等による資料の散逸防止に効果的であり、アメリカなどでは制度化されているが、国内でそのような仕組みを有しているのは神奈川県公文書館のみ。

【行 程】

時 間	移動方法	行程及び訪問地	内 容	備 考
11:15～12:15	徒歩	県立公文書館	○公文書館の中間保管庫等の視察 ○公文書レスキューの修復現場の視察及び担当者との意見交換	